

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市上野山児童館		
2 指定管理者	公益財団法人仙台ひと・まち交流財団		
3 指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日		
4 施設の利用状況	《利用者数》 ・令和4年度 23,253人(前年度比 122.9%) ・令和3年度 18,921人 ・令和2年度 16,637人		
	《事業》 ・児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業		
5 収支の状況	《費用》 ()は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 36,393千円 (39,222千円) ・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円)		
	《収入》 ・ 使用料収入 0千円 (0千円) ・ その他収入 0千円 (0千円)		
6 利用者の声	《実施状況》 ・利用者アンケート、児童館運営懇談会、児童クラブ保護者懇談会を実施。		

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議、チェックシートで確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	30/30
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	24/24
IV サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行、ホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	児童クラブにおいては、子ども達が安心して過ごせる生活の場としてふさわしい環境の整備と安全面の配慮が行われており、家庭や学校と情報共有を図り連携した育成支援に努めている。また、乳幼児向けの交流の場を工夫するなど、子育て家庭を支援するとともに、様々な地域組織・団体・住民・関係機関との連携、相互交流を図りながら児童館の運営に取り組んでいる。	18/18

三 評価総括

《指定管理者（公益財団法人仙台ひと・まち交流財団）による自己評価》
<p>「安心安全でみんなが笑顔に！」をスローガンに、利用者に喜んでもらえるよう様々な取り組みを行ってきました。</p> <p>児童クラブでは、児童が主体となって取り組む活動を多く取り入れ、自主性や社会性を育てるとともに協調する力や協働する力を身につけられるよう支援しました。「子ども企画スポーツ大会」では、「子ども会議」での話し合いをもとに、小学校の校庭を使った「逃走中」（チーム戦の鬼ごっこ）と館全体を使った「宝さがし」を実施しました。上級生が中心となって、計画・準備・運営を進め、全員が楽しむことができました。伝承遊びや集団遊び、制作活動に取り組む「チャレンジひろば」では、上級生が下級生に教える活動を取り入れ、異年齢の交流も活発になっています。</p> <p>子育て家庭支援事業では、親子の触れ合いや参加者同士の交流が深まるよう企画や行事を工夫しました。徐々に乳幼児親子の皆さんの来館が増え、大型遊具で遊ぶ「サーキットタイム」や、広いスペースでのびのびと遊べる「プラレールタイム」などを楽しんでいました。ハロウィンやクリスマス会、わらべうたなどに取り組んだ「すくすくタイム」では、複数回参加してくださる方が多く、会が終わった後に参加者同士で連絡先を交換する姿も見られました。</p> <p>児童館まつりに代わる行事として「あそびのひろば」を開催しました。職員が準備した遊びのコーナーに加え、地域の関係団体による出店もあり、小学生はもちろん乳幼児親子さんと地域の方との交流の場となりました。</p> <p>町内会の協力を得て発足した太鼓の会「上野山飛竜の会」は活動6年目を迎え、地域の様々な施設で発表する機会をいただきました。迫力のある太鼓の響きに「すばらしい演奏ですね」と褒められることが多く、参加者の大きな励みになっています。</p> <p>次年度も利用する皆さんの笑顔があふれる児童館を目指して努力してまいります。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>児童健全育成事業においては、令和4年度に新たに、児童館での遊びや創作活動を親子で楽しむ「土曜親子タイム」を実施した。活動を通して児童理解や保護者との児童の姿の共有に努めており、参加者からも好評を得ている。日頃の遊びや練習の成果を発表する場として、「オセロ王決定戦」「将棋王決定戦」を開催し、多くの児童が参加し真剣に取り組む姿が見られた。この取り組みを通して、日頃の遊びの充実と共に意欲や遊びへの興味関心が育まれている。</p> <p>子育て家庭支援事業においては、保護者からの要望が高かった「おさがり会」を開催して好評を得た。子育てに悩みを抱える乳幼児・小学生の保護者から、保護者同士で語り合う場を作りたいとの相談を受けて、実現に向けた支援を行う「くもはれ会」を発足し継続して開催した。月1回開催し参加者も増加しており、地域の中で安心して子育てができる環境作りに繋がっており、利用者のニーズを捉えて様々な行事を実施して地域の子育て家庭を支援している。</p> <p>地域交流推進事業においては、放課後デイサービスおひら上野山と日常的な交流を持ち、遊びを通して相互理解を深めていく支援を行い、それぞれが心地よく過ごせる関係性が築かれている。「上野山飛竜の会」や「おはなし会」「かたりべの会」は地域の方の協力のもと継続して実施し、子ども達の豊かな感性を育て、地域が一体となって子どもが育つより良い環境作りに取り組んでいる。</p> <p>放課後児童健全育成事業においては、「チャレンジひろば」を同じテーマで2回開催し、1回目は高学年を対象として行い、2回目の低学年の日には、高学年がお手伝いとして参加して異年齢交流を図っている。2年生以上が行っている係活動については、子どもの意見を取り入れて、計画係・チェック係・整列係・生き物係等係の役割を決め、何をやるのかをわかりやすくして取り組んでいる。「こども企画スポーツ大会」は、計画係が企画運営して4回行い、多くの児童が参加した。それぞれの係活動で主体的に取り組み、達成感や満足感を感じられる支援を行っている。</p>	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：こども若者局こども若者支援部児童クラブ事業推進課